

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2005-283966 (P2005-283966A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040
 【出願番号】特願 2004-97850 (P2004-97850)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 13/16 (2006.01)
G 0 2 B 13/04 (2006.01)
G 0 2 B 13/18 (2006.01)
G 0 2 B 13/22 (2006.01)
G 0 2 B 13/24 (2006.01)
G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 13/16
 G 0 2 B 13/04 D
 G 0 2 B 13/18
 G 0 2 B 13/22
 G 0 2 B 13/24
 G 0 3 B 21/00 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 7 日 (2007.2.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

特開 2 0 0 2 - 3 5 7 7 6 9 号公報には、プロジェクタ装置に用いる投写レンズ装置について、一対のプラスチック製の非球面レンズを用いることが開示されている。さらに、前側の非球面レンズは負パワーとし、後側の非球面レンズは正パワーとし、プラスチック製のレンズが熱で変形し、屈折力が変化した場合、正パワーのレンズと負パワーのレンズとで影響を打ち消しあい、収差を補正する性能の低下を抑制することが記載されている。

【特許文献 1】特開 2 0 0 2 - 3 5 7 7 6 9 号公報